

(様式 6－1)

## 実績概要（ホームページ掲載用）

研究又は活動のテーマ	地域活性化に資する「小さな拠点」形成に向けた実践的研究
助成事業者	九州大学
代表者	羽野暁
<p><b>(目的)</b></p> <p>近代化遺産等の歴史的資源の利活用による地域活性化効果について、対象フィールドにおける社会実験の実施を通して活性化効果を検証し、一般化に向け考察した。また、九州圏内に現存する歴史的資源の現地調査を実施し、形状や周辺環境、歴史情報の収集を行った。</p>	
<p><b>(概要)</b></p> <p>鹿児島県は、薩摩藩の時代より形成された麓の名残が各地に残り、明治以降の近代化遺産も数多く現存する。県内に点在するこれらの歴史的資源は、利活用により地域活性化が期待できる地域資源である。本研究では、主に社会実験を通して過疎・高齢化地域における活性化プロジェクトの効果を検証し、一般化に向け考察した。</p>	
<p>1. 山田橋の橋詰公園施工参加イベント</p> <p>山田橋の面影が残る橋詰跡地に整備されたポケットパークにおいて、緑地の芝張りに地域住民が参加する地域参加型の施工イベントを開催した。地域の子供や保護者、高齢者等およそ30名が参加した。事後ヒアリングでは、施工に参加することにより地域の土木施設への愛着の醸成が確認できた。</p>	
<p>2. 山田橋の橋詰公園コンクリート柱の製作工場見学会</p> <p>山田橋の橋詰公園に設置するコンクリート柱は、旧橋の印象と調和するよう顔料を加え表面を洗い出す工夫が施されている。コンクリート柱の製作工程を見学する工場見学会を開催し、地域住民が参加した。事後ヒアリングでは、地域の土木施設への愛着の醸成が確認できた。</p>	
<p>3. 山田地域フットパスイベント</p> <p>過年度に自治組合および観光協会と連携して立案した山田地域フットパスコースにおいて、フットパスイベントを開催した。山田橋の橋詰跡地のポケットパークは未整備の段階であったが、フットパス参加者を対象に実施したアンケート調査（49名回答）により、残存する旧橋親柱の存在感や、フットパスコースの休憩場所としての有効性、ポケットパークが整備された場合のフットパスコースの魅力増加可能性が確認できた。</p>	
<p>前年度の取組み及び今年度の上記1～3の取組みを通して、子ども・保護者・高齢者が世代を越えて交流する機会の創出が、地域の活性化に有効であることが確認できた。</p>	
<p>4. 九州圏内に現存する歴史的資源の現地調査</p> <p>鹿児島県を中心に、九州圏内に現存する戦前に竣工した歴史的コンクリート橋梁（対象10橋）について現地調査を実施した。</p>	